

平成30年度第2回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成30年6月21日（木）午後2時～4時
- 2 開催場所 市役所4階 S3・4会議室
- 3 出席者
（委員）
藤田委員長、松木副委員長、山崎委員、茂泉委員、大塚委員、田中委員、
伊藤委員、渕野委員、藤巻委員、松浦委員、百瀬委員
（事務局）
教育長、生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、郷土博物館長、
中央図書館長、青少年センター所長、高洲公民館長、市民スポーツ課長、
青少年課長、生涯学習課主幹、生涯学習係
- 4 傍聴人 0人
- 5 議題
 - （1）報告事項
 - 1）事業報告について
 - ①平成29年度青少年センター事業報告について
 - ②平成29年度郷土博物館事業報告について
 - ③平成29年度公民館事業報告について
 - ④平成29年度浦安市立図書館利用統計及び実績について
 - 2）（仮称）浦安市子ども図書館基本構想の策定について
 - 3）浦安市スポーツ推進委員の委嘱について
 - 4）生涯学習部各審議会の開催結果について
 - （2）協議事項
 - 1）浦安っ子を支える地域の力について
- 6 議事概要及び会議経過
 - （1）報告事項
 - 1）事業の開催報告について
事業の各担当課より概要を報告した。委員からの主な意見・質問等は以下の通り。
 - ①平成29年度青少年センター事業報告について
（委員） 青少年相談活動において、解決に時間を要する案件や解決

の見通しが立たない案件への対応について伺いたい。

(事務局) 相談者の状況や心情に寄り添って対応しているので、解決や解決の見通し、不安の軽減等がなされるまで複数回の相談を要することがある。平成29年度は、54件の相談受理件数に対し、225回の相談回数があり、1回で終了した場合もあれば、5回実施した場合もある。

また、専門機関等との連携が必要と判断した場合は、「うらやす・そらいろルーム」や「千葉県発達障がい者支援センター」等の専門機関や医療機関と関わり、解決の見通しが持てるように対応している。

(委員) 「盗撮」「連れ去り」「声かけ」「陰部露出」等の不審者情報が増えているが、青少年センターとしての具体的な対策、予防策について伺いたい。

(事務局) 不審者に対しては、警察と連携を図りながら随時パトロールをしている。また、不審者情報については、保健体育安全課を通して市立幼稚園、認定こども園、小中学校に周知し、必要に応じて保健体育安全課と連携して対応にあたっている。

(委員) 保健体育安全課からの不審者情報を基に、学校等から各保護者へ周知されるが、その周知の内容が各学校等によって異なることがある。特に、個人情報や特別な配慮を要する情報が含まれている点に留意する必要がある。

また、市のお知らせメール等を活用し、全ての市民が情報を迅速に得られる手段を明確にする必要があると感じる。

(委員) 不審者対策について、市P連の運営委員会で議題にあがっている。学区の防犯安全マップを作成したり、不審者情報を地図アプリ上で確認できるようにしたりと、各単Pで取り組みが異なっている。市P連としてよい対策を周知し、各単Pを通して各家庭の安全意識を高めたい。

②平成29年度郷土博物館事業報告について

(委員) 市外からの団体見学も多いと聞いたが、どのような団体が多いのか伺いたい。

(事務局) 比較的、年配の団体が多く利用している。また、他の市町村団体が視察等の目的で利用する事も増えている。

(委員) 浦安市は、市の広さや交通、サービス、観光地など多くの面で高く評価されている。特に、街歩きの団体が浦安巡りをする際に、目的地の1つに郷土博物館がよく入っていると伺っている。

(委員) 郷土博物館展示リニューアル基本構想策定の具体的な構想について伺いたい。

(事務局) 今年度、現行の基本コンセプトの課題を洗い出し、先進事例や市民ニーズを把握したうえで、今後の博物館に求められる機能や整備の方向性を示す予定である。その上で、常設展示について、現状は埋め立て前の浦安の様子が中心であるので、埋め立て以降の浦安の様子を加える方向で考えている。

(委員) 博物館ボランティアの養成とあるが、具体的にどのような取り組みなのか伺いたい。

(事務局) 一例であるが、あさりの貝剥きなどの研修を数回実施し、博学連携で来館した子どもたち等の指導にあたってもらっている。博物館ボランティアの高齢化の面からも、新たな人材の発掘や養成に取り組んでいく。

(委員) 小学3年生は市内探検を通して、浦安の人、物、事を学んでいる。博学連携の1つとして、ベカ舟乗船を博物館で体験できるが、実際に境川で舟に乗れたら更により学習になると思っている。境川で乗船が可能なのか伺いたい。

(事務局) 博物館の企画としては実施しておらず、要望に応じて随時検討している。可能であると思うが、実施に向けた検討が必要だと考える。

(委員) 郷土博物館の基本コンセプトとして、「リピーターの呼べる博物館」とあるが、現状のリピーター状況について伺いたい。また、「学校教育に生かせる博物館」として博学連携を推進していると思うが、具体的な取り組みを伺いたい。

(事務局) リピーターに関する具体的な数字はないが、リピーター数は多いように感じる。企画展の回数を増やし、新規の来館客を増やしていくのは、学芸員の人数が限られている点からも現状難しい。

また、各小中学校に博物館活用推進委員を1名推薦してもらい、学習への活用について検討を行った上で、各校の指導計画に活かしている。

③平成29年度公民館事業報告について

(委員) 平成27年度以降、富岡公民館が利用者数を大幅に伸ばしている要因を伺いたい。

(事務局) 富岡公民館は、平成27年11月から平成28年6月まで大規模改修工事を行ったことで、平成27年度、平成28年度の利用者数が減少しているが、平成29年度からは通常開館していることで増加している。

(委員) 市民への学習情報提供の方法について引き続き検討が必要とある。まなびネット、広報うらやす、ルネサンスなど個人的には十分だと感じるのので、その理由を伺いたい。

- (事務局) 公民館事業及び公民館サークルの行事等の情報に関して、事前の情報提供はなされているが、事後の情報提供も行う方向で検討している。公民館や公民館サークルを広く周知する意味でも必要であると考えている。
- (委員) 今後は、市民大学との連携がより大切だと感じているが、公民館事業や公民館サークルの活動との連携について伺いたい。
- (事務局) 市民大学の卒業生に、公民館事業や公民館サークルの行事の講師として依頼するなど、市民大学との連携を図っている。
- (委員) 公民館主催事業年間統計の項目が事業数と総回数だけなので、参加人数や前年度との対比を記載すると傾向が読み取りやすいのでお願いしたい。
- (事務局) 参加人数の内訳や前年度のデータを集計しているので、傾向が分かるように工夫する。
- (委員) 統計データを資料として掲載するのは、初めて見る者にとっては分かりづらいものである。成果と課題等、その資料の趣旨を具体的な文章で記載するようお願いしたい。

④平成29年度浦安市立図書館利用統計及び実績について

- (委員) 図書館では、視聴覚資料の著作権に関する対応はどのようにしているのか伺いたい。また、視聴覚資料の拡充の方向性について伺いたい。
- (事務局) 図書館でのCDの取り扱いは、著作権上認められているので、一般に販売されている物を購入している。DVDの取り扱いは、著作権料込で販売されている物を購入している。
また、昨年度から各分館で視聴覚資料の取り扱いを増やし、利用も増えている。今後も継続して拡充を図る。
- (委員) 市外者の新規登録に「その他」とあるが、詳細を伺いたい。また、図書館利用統計の前年比にマイナスが多い理由を伺いたい。
- (事務局) 市外者の利用に関しては、市川市行徳在住者を認めているので、「その他」はその人数である。
また、浦安市においても、インターネットやスマートフォンの普及による読書離れの影響が考えられる。図書館のホームページを活用し、本の魅力を伝えて読書推進を進める。
- (委員) 青少年事業の1つとして、市内中学校美術部によるブラックシアター発表会がある。素晴らしい作品が多く、とても好評を得ている。年に1回しか発表の場がないので、図書館と連携をとって発表の機会を増やすと共に、中学生と図

書館を繋げる機会にもしたい。

また、小学生の放課後の時間を活用した取り組みを、図書館と連携して行っていきたいと考えているので検討いただきたい。

(委員) 図書館を読書だけでなく、学習の場として利用している人も多いと聞いている。浦安市の現状を伺いたい。また、学習室における改修工事の方針を伺いたい。

(事務局) 図書館の学習室は40席あり、土日は更に40席増やして対応している。改修工事後も、学習室に関しては現状維持の方向で考えている。また、市民から閲覧席の拡充の要望が多い。

2) (仮称) 浦安市子ども図書館基本構想の策定について

生涯学習課より(仮称)浦安市子ども図書館基本構想の策定の概要を報告した。委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 子ども図書館は、全国にどのくらいの数があるのか伺いたい。

(事務局) 千葉県内では、市川市、柏市、流山市にあり、全国に40から50館程度あると思われる。市川市の子ども図書館は、中央図書館に併設した約400㎡の大きな規模となっている。

(委員) 子ども図書館の対象年齢を伺いたい。

(事務局) これから策定する基本構想の中で検討していくことになるが、一般には0歳から18歳が対象となることが多く、その家庭も対象とする事例がある。

また、対象年齢を検討する上で、未就学時期の読書の習慣化や小学生時期の放課後の居場所、中高生時期の学習の場など、年齢区分に応じた課題や教育ニーズを踏まえて策定していく。

(委員) 子ども図書館の敷地など具体的に決まっていることがあれば伺いたい。また、図書館協議会との連携があれば伺いたい。

(事務局) 中央図書館の改修工事とは別の事業であり、敷地や目的、内容等を含めた基本構想を検討予定である。

また、図書館協議会には子ども図書館基本構想の策定について伝えている。今後、意見を伺いながら進めていく予定である。

3) 浦安市スポーツ推進委員の委嘱について

市民スポーツ課より浦安市スポーツ推進委員の委嘱について報告した。

4) 生涯学習部各審議会を開催結果について

平成30年度第1回公民館運営審議会会議録について資料をもって説明とした。

(2) 協議事項

1) 浦安っ子を支える地域の力について

委員長より提言書の作成計画について説明した。次回は、青少年育成活動を行う社会教育団体のリストから2、3団体を選び、調査、研究の計画立てを行う旨を周知した。

以上で本会議は終了した。